

# 武井 誠 活動報告

## 武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40  
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175  
<http://www.takei-makoto.org/>  
E-mail takei@sakado-gr.org

25号

- ◆地域の要望を埼玉県知事に
- ◆無料法律・年金・市民生活相談案内
- ◆坂戸市12月議会 武井誠の一般質問
- ◆片柳に競輪場外車券売り場が?!
- ◆投稿：あなたの平和・私の人権

## 安心安全、市・町・県が力をあわせ

### 交通安全、浸水冠水対策を県に要望

昨年11月、社民党埼玉県連合の一員として、上田埼玉県知事に要望書を提出しました。要望は77項目、うち36項目は地域からの要望です。

坂戸市議として私は次の3項目を要望しました。

- ①県道ときがわ坂戸線、善能寺地区及び玉林寺地区の県道の冠水対策について、第1期工事の総括を踏まえ、坂戸市、毛呂山町と再度協議し、早急に改善すること。
- ②県道39号川越坂戸毛呂山線、坂戸市内の歩道整備、横断歩道・信号の設置など、早急に歩行者の安全対策を行うこと。
- ③一級河川飯盛川の国道407号線上流の河川整備を促進すること。

特に①については、市執行部や市選出県議のご努力も紹介し、三者協議の推進を強く求めました。

### 是々非々の議論が育む民主主義

前回の懇談で、上田知事の教育政策について武井誠は、不登校児童生徒数や学力テストの平均点などの数値を市町村に競わせることの危険性を指摘し、改善を求めましたが受け入れられませんでした。

しかし、公党への礼を失せず真摯に話を聴かれる知事の姿勢は、前回も今回も変わらず「できることとできないことがあるが、取り組めるものはすぐ動く」とのお答えどおり、その後いくつかの地域要望が実現しています。敬意を表したいと思います。

ホームページを毎日更新し、武井誠の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力して検索をクリック。ツイッター、フェイスブックからも発信しています。無料メールマガジンも通算84号になりました。毎月1日と15日に、配信しています。ホームページから、お申し込みください。



上田埼玉県知事に地域からの要望を提出

### 無料相談会継続中

日常生活での悩みごとに、弁護士、社労士、税理士、心理カウンセラーが無料で相談に応じる会を実施し、大変好評をいただいています。13時～武井誠との市民生活相談、14時～年金相談、15時～法律相談、相談時間は30分です。税務、家庭相談は随時となります(要予約)。

1月は、1月21日(土)

会場は、北坂戸文化施設オルモです

2月は、2月25日(土)

会場は、坂戸駅前集会施設です

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。(ケイタイ 090-9854-5175)

# 武井誠の 一般質問

1 2月定例会、武井誠は、市民みなさまからの声を基に①小中学校教職員の勤務実態②地域包括ケアシステム③図書館のあり方について一般質問しました。特に、小中学校教職員については、1日平均3時間、事実上の超過勤務をせざるを得ない状況が明らかとなり、緊急な改善を求めました。

## 過酷な小中教職員の「超過勤務」

全国的に、学校現場の多忙化が看過できない問題となり、文科省からは6月に「学校現場における業務の適正化に向けて」という、教職員の業務改善の方策が公表されました。

埼玉県でもやっと小・中学校教職員の勤務実態調査が行われました。本市教職員の勤務時間を除く在校時間を質問したところ、市内小学校教員が1日平均2時間29分、中学校教員が3時間8分、特に小中学校の勤務5年未満の教員が3時間30分という答弁でした。

「いじめ」など深刻な問題が全国で多発する中、教員が心にゆとりを持っていてねいに子どもたちと向き合えるように、勤務条件の改善をすることは、大変重要と考え、質問を続けました。

長時間働く教員が優れた教員という意識から、例えば8時間は睡眠、8時間はいい仕事をし、残りの8時間は自分や家族や地域、社会をよくするために使う、それぞれの8時間を充実させることがほかの8時間にいい影響を与える、そういう教員像への意識転換の重要性について、認識の一致をみました。

また、中学校の部活動については「土曜日もしくは日曜日のどちらかを休みとし、適切な休養日を設定するとともに、平日の部活動においても活動時間の見直しを指導する」との、答弁をえました。

毎晩8時を過ぎても職員室のあかりが消えない市内の小中学校。引き続き業務適正化の取組を厳しく注視していきます。

## 福祉事業と地域コミュニティ

2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築が求められています。また「要支援者向けサービスの一部」が、市町村の地域支援事業に移行するなど、介護保険制度見直しの問題もあります。

地域包括ケアシステムについて私は当初、

行政が医療、介護にかかる費用を削減し、区・自治会やボランティア団体などの「人の好き」につけこんで、行政がサボタージュしたサービスを押し付ける口実なのではないかと、やや冷ややかな目で見えていました。

しかし、公的サービスとしての通所介護や訪問サービスの充実によって、逆に地域での孤独化、人間関係の希薄化という皮肉な結果をもたらす危険性があるという指摘もあります。公的なサービスと地域の支え合いが有機的に結びつき機能するような、今までになかったシステムの構築が求められています。

こういった観点から質問をし、地域包括支援センターの充実や、認知症対策、市民活動団体への支援等について前進的な答弁をえました。

## 図書館機能の充実と利便性向上

市民の方から寄せられた声をもとに、①図書館の果たすべき役割②蔵書の質と量の充実③開館日、開館時間について質問しました。

IT技術の急速な発達に伴うデジタル化の取組、障がいを持った方や、外国の方等への配慮、レファレンスサービス機能の充実、図書館協議会への市民要望の反映などについて確認、特に、休日月曜日の開館については「検討する」という答弁をえました。

## 子どもの未来づくり 講演会

### 食べて、動いて、よく寝よう!!

日時 2017年2月11日(土)

場所 坂戸市文化施設オルモ3階ホール

講師 早稲田大学教授 前橋 明氏

共催 坂戸市学校給食を考える会 坂戸市

※入場無料 ※託児あります

### ご存じですか？坂戸市提案型協働事業

坂戸市には、市との協働により地域の活性化又は課題の解決を図る事業を行う市民活動団体に対し補助金を交付する仕組みがあります。年1回、上限10万円。これを活用しての講演会です。

# 命の大切にされる街を、社会を

平和で、いのちと人権の大切にされる社会の実現が、脅かされている危機感を、多くの市民、国民が感じ始めています。坂戸市においても看過できない動きがあります。できることをできるところで、ともに取り組んでいきましょう。



## 競輪場外車券売り場建設計画が

国道 407 号沿いの片柳地区パチンコ店跡(左写真)に、競輪の場外車券販売施設を含むレジャー施設「サテライト坂戸」を建設する計画があり、昨年末、業者の担当者による住民への説明会が行われました。参加された方の感想は「極めて不十分な説明で、治安や交通安全など、いろいろな心配や疑問がわいたが、時間で区切られ一方的に終了されてしまった」とのことでした。

2009年に、ポートピア(競艇の場外舟券売り場)を坂戸に建設するという計画があり、私はゆゆしい問題であると議会で一般質問をしました。そのときに市と確認したことの多く、例えば「広い範囲の市民の意向に配慮する」「地元自治会の同意、市町村の長の同意、市町村の議会が反対の議決をしていない」という3要件を満たさない限り実施できない、などはそのまま今回にも活かされなければなりません。

国会における「カジノ法案」強行採決と軌を一にするような今回の計画、私は坂戸市民の平和と安全を脅かすものとして、反対すべきではないかと考えます。

## 武井 誠 活動予定

<1月>

- 15日 武井誠「新春の集い」
- 16日 議員有志の政策研究会
- 17日 交通安全関係要望書提出
- 18日 映画上映会打ち合わせ
- 19日 4市議員合同研修会
- 20日 水道企業団議員協議会  
原爆絵画展実行委員会
- 21日 「狭山事件」住民の会  
無料年金・法律・市民相談
- 22日 建設ユニオン定期大会
- 23日 学校給食を考える会定例会
- 24日 坂戸市区長会研修会  
労大埼玉西部講座実行委
- 28日 地域医療センター内覧会  
比企教組「初めの一步の会」
- 29日 坂戸市くらし展

<2月>

- 03日 水道企業団議会
- 04日 根岸みさお「新春の集い」
- 05日 「小さき声のカノン」上映  
実行委員会

## 必勝 2017 春に2つの選挙

### 社民党推薦

3月 富士見市議選 根岸みさお

4月 飯能市議選 パタソンひとみ

### そして、衆院選

### 社民党公認

埼玉 13 区に 池田まさよ 県副代表

## 「共謀罪」は現代の治安維持法！

原発事故「自主避難者」への支援打ち切り、TPP、カジノ、年金カット法強行採決、そしてオスプレイの重大事故を無視した沖縄辺野古、高江への基地建設強行、安倍政権の暴走に対して、怒りを禁じえません。

そして通常国会に提出されようとしている「組織犯罪処罰法」の「共謀罪」は、支配者による無制限の拡大解釈を可能とする、恐ろしい治安維持法の再来です。 反対の声をあげましょう。

署名等へのご協力をお願いします



# あなたの平和・私の人権 ～連載：市民の声①～

今号から「リレー エッセイ」のコーナーを新設しました。平和・人権・環境・雇用・産業・健康・福祉など、日常の暮らしの中での声をお寄せください。今回は、昨年の選挙を機につながりのうまれた女性お二人から、原稿をいただきました。

## 2016年を振り返って

坂戸の主婦 関間在住

一昨年、夫がクリスマスプレゼントにタブレットを買ってくれ、それで始めたfacebook。

新聞・テレビと違う視点のニュースが入ると政治の世界に目を向けざるを得ない状況が待っていました。

暴走を続ける今の政権を止めたい一心で、昨年は選挙に初めて関わりました。勢いで選挙カーにも乗りました。戦争そして平和という言葉にこれほど敏感になったのも初めてです。

そんな、歳に見合わず新社会人のような私が、国政と同じく地元も大事なことを学び、坂戸には武井誠さんをはじめとするすばらしい方々が、地に足のついた活動を日々されていることを知り得た貴重な年でもありました。

今年も、同じ思いを持つ人たちとの繋がりを大切に、平和な日々の有難さを考え、人の役に立つ活動をしたいと思います。突き詰めているいろいろなことを考え抜き、自分でしっかりと調べて意見を持つことも努力課題です。



## 同級生とのホームパーティ

坂戸市・H・A

今年のお正月は、中学の同級生5人（全て女子）が、我が家に集結した。実に30年ぶりのことである。風貌も体型もほとんど変わらず、お世辞抜きで皆若々しい。「ちゃん」づけで呼びあい、すぐに昔に戻る。当時の思い出話から始まり、家族のこと、趣味のこと、今の気になるニュースのこと、話題は尽きない。

米国から里帰りした友は、なぜトランプ氏がこれほど支持されたのかを語ってくれた。社会人となった甥をもつ友は、これから彼が返済し続ける奨学金のことを、中学教師の友は、給食費の回収のことを語ってくれた。

30年後の今、こうして元気に再会できたことは、とても幸せなことであり、そして「平和」ならではのことでもある。

ただこの平和を続けていくには、もう祈っているだけではダメで、その平和を両手でつかみ、大空にかざし、「私が守りたいのはこれなのよ！」とハッキリ言わなければいけない時が来ているのかなあと、友人らの笑い声が弾ける中、そんな事を考えたのであった。

## 「小さき声のカノン」&「ダキシメルオモイ展」

世間の「無理解」が引き起こす、いわれなき「いじめ」を繰り返さないために。原発事故被災地のおかあさんたちの苦悩と苦闘、そしてチェルノブイリ原発事故後のベラルーシ。原発と放射能の問題に真摯に向き合い、取り組む鎌仲ひとみ監督渾身のドキュメンタリー映画です。同時開催の小林憲明さん「ダキシメルオモイ展」ともども、ぜひご覧ください。

日時 2月19日（日）13時30分 17時30分

場所 坂戸市文化施設オルモ

入場料 1000円（学生・障がい者500円）

※昼の部には無料保育があります（要予約）。

主催：郡山の子どもたちと遊ぶ会

